



**センスオブアースが支援する日本女子大学生田山観察会。
学生有志のみなさんが学園祭で展示をします**

日本女子大学人間社会学部学園祭「日女祭(ひめのさい)」に行こう

日本女子大学西生田キャンパスのなかに、10ヘクタールを超える里山があります。ここはキャンパス内のため、ゆたかな自然がそのまま残っており、都市近郊としては貴重な生態系の空間となっています。地元の専門家の指導によって、これまで センスオブアースと教育学科の学生有志が共同で2回の観察会を開いてきましたが、学生たちがその成果を展示形式でまとめました。センスオブアースが支援する学生グループの学習成果を、ぜひ見に来てください！

- ・展示の名称：「自然探検隊」(人間社会学部教育学科の学生有志)
- ・日時：2005年10月22日(土)～23日(日) 10:00～17:00(両日とも)
- ・場所：日本女子大学西生田キャンパス36番教室

◎ 小田急線 読売ランド前駅下車 徒歩15分または小田急バス「稲田堤」・「城下」行乗車「女子大東門(生涯学習センター前)」下車 徒歩5分、

◎ JR南武線 稲田堤駅・京王線 京王稲田堤駅下車 小田急バス「生田営業所」行乗車(10分)「女子大東門(生涯学習センター前)」下車 徒歩5分 駐車場 構内手狭のため、原則として車でのご来校はご遠慮ください。

見つけたゾ！ 楽しいイベント

都立高校
公開講座

バードウォッチングとスケッチ

11月20日(日)

11月27日(日)

楽しいイベントを紹介します。

鳥を見るだけでなく、1枚の絵にすると…楽しみがさらに広がることでしょう。必要な画材は用意していただけるそうです。講師はワイルドライフアート協会会員(田村豊さん：練馬高校美術化教諭、村越史子さん)のお二人です。

11月20日(日) 9:00～15:00

練馬高校美術室(剥製のデッサン)～光が丘公園(バードウォッチング)

11月27日(日) 9:00～15:00

上野公園(スケッチとカモ類のバードウォッチング)



費用：2,500円(受講料1,000円、画材900円、動物園入園料600円)

申込：往復はがきに 住所・氏名・性別・電話番号を明記、『バードウォッチングとスケッチ』とお書きいただき下記宛先までお送りください。

宛先(問い合わせ先)：179-8908 練馬区春日4-28-25 東京都立練馬高等学校 公開講座係
でんわ 03-3990-8643

申込締切：10月20日(木) 必着 折り返し決定通知として返信するそうです

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

センスオブアース オリジナル企画
美ら沖縄 人・文化・大自然にめぐり逢う
沖縄・備瀬～ちゅら海エコツアー2005

2005年9月8日(木)～11日(日)
参加人数 10名
宿泊 いこいの村 おきなわ

今回のエコツアーのレポートは、参加者の一人、昨年の沖縄・備瀬～ちゅら海エコツアーにも参加していただいた日本女子大学三年生の新田章子さんにお願しました。新田さんありがとう。再び参加してくれたことで、関係者一同、このエコツアーを企画して良かったと改めて喜んでいます。次号も含め二回にわたる掲載で、その理由が伝われば幸いです。



目をつむれば、すぐ甦ってくる。
美しい海、豊かな自然、穏やかな人々。
共に学び活動し、発見し合った仲間。
私達に大切なことを教えてくれた体験。
そして、胸を揺さぶるような感動の数々—。

私達は去年、かけがえのない体験をここでした。
それは今も心の中で大切な思い出として輝き続けている。
だからもう一度戻ろう。

—あの場所へ、そしてあの海へ—

1日目 - 9月8日

沖縄そば、ソーキそばを堪能
備瀬区長表敬訪問
海辺にて夕日を眺める



<参加者から～1日目の感想>

- ソーキそばは、とても美味しかった。お腹の中から沖縄パワーがわいてきた！星空もとてもきれいだった。この空も見せてあげたいけれど、写真には写らない。このまま持って帰れたら良いのにな。これからの4日間が楽しみ。(小椋朋美)
- 備瀬の海はとてもキレイで、感動しました。青い部分と緑色の部分があり。海は青いというイメージがくつがえりました。区長さんはとても穏やかな人で、島人のオーラがにじみ出ていました。(鈴木里佳)



2日目 - 9月9日

備瀬の海岸付近でゴミ拾い

地元のオバー達との交流（沖縄料理）

備瀬の海でシュノーケリング など



<参加者から～2日目の感想>

☆ゴミ拾い☆

●予想とは違い、すごく大量のゴミが海だけでなく、その周辺にもあり驚いた。このような活動は初めてだったので、ゴミを掃除し終わった後は、とても気持ちがよかった。そして、自分も十分ゴミには気を付けようと思ったし、他の海はどんなだろうと考えさせられた。（寺井絵美子）

●ただ通過するだけなら、ほとんどゴミには気付かないような道も、探そうと思って探してみると山ほどゴミが見つかり、綺麗な海とそのすぐ側の汚い道とのギャップにショックを受けました。でもゴミ拾いをした事で、午後海に入った時に、普段目につかないゴミが気になる、というように、自分の意識が変わってきたと思いました。（小幡さやか）

●同じ人間として、ゴミを捨てるという行為をしている事に怒りや悲しみを感じました。今ある自然は皆のものです。だからこそ、一人一人が意識を持って自然と接して行かなければならないと感じました。まさしく、自然との共生だと思います。（田谷麻美）

☆地元のオバー達との交流☆

●ゴーヤや苦菜は独特の苦みや香りがあり、私にはなじみのないものだった。これも暑い中で生活するためのエネルギーになるのだと思うと、沖縄の文化を感じ、そのような食材を食せたことにありがたさを感じた！（藤波めぐみ）

●ゴーヤチャンプルーや和えもの、沖縄そばなど、どれも美味しかったです。新鮮だったのはヘチマで、私は乾燥させてタワシにすることしか利用法を知らなかったもので、とても驚きました！（関友美）



☆シュノーケリング☆

●初シュノーケリングだったので息ができるか心配でしたが、意外と簡単でした。目の前に広がるたくさんの魚やサンゴに感動しました。歩いて行けるほどのすぐ近くに、こんな景色があるなんてびっくりです。備瀬の人達が、今まで海を汚さないようにしてきてくれた事に感謝です。（多田出貢子）

●途中で雨が降ってきたので、潜ったまま、水面に雨が当たる音を聴いていると、コボコボというような、クチュクチュというような不思議な音に包まれて、まるで海の水と一体になったような気分になれた。やはり海は私たちの母なのだなあ。（新田章子）

●初めてのシュノーケリングをして、沖縄に生息しているサンゴや魚をたくさん見れて、感動しました。海の中でたくさんの生物が力強く生きていて、自然の強さを感じました。午前に行ったゴミ拾いで出たゴミの山と午後に見た海中の美しさは、全く逆の事なのに、同じ場所である事実があり、何とも言えない気持ちになりました。（村田奈歩美）



10月16日(日)
10時～13時

集合時間と集合場所が変更になっています。
事前申込なし、現地に直接お越しください。

秋の荒川クリーンエイド2005 区立生物生態園会場
板橋荒川河川敷のゴミ拾いと芋煮会

今年からセンスオブアースも、荒川クリーンエイドに参加します。去年は、上流の熊谷から河口まで40カ所のべ1万人が参加して行われました。今回から荒川河川敷にある区立生物生態園を中心に、例年活動されている『いたばし野鳥クラブ』『板橋自然と遊びの会』『全通板橋支部』のみなさんと、水質調査やゴミ拾いをします。きれいになったら、楽しい美味しい芋煮会もあります。アシ笛を作って遊ぶ体験コーナーや防災食の試食会も予定されています。お楽しみに。

日時：2005年10月16日(日) 10時～午後1時

場所：板橋区立生物生態園前

持ち物：お椀、箸、カップ(お忘れなく)、図鑑、双眼鏡、タオル、軍手、汚れても良い服装で
参加費：無料

共催：いたばし野鳥クラブ、板橋自然と遊びの会、全通板橋支部のみなさんと、
センスオブアース

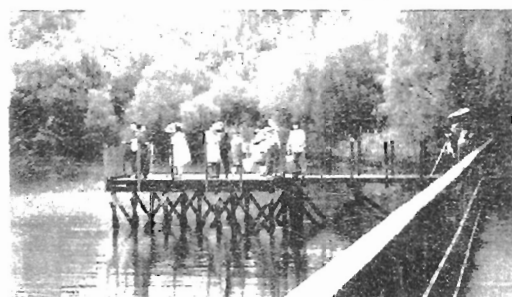
協力：板橋区みどり公園課

.....

ニュースフラッシュ ◆ 早いもので、9月30日にセンスオブアースは誕生1周年を迎えました。会員のみなさま、このニュースをお読みいただいているみなさま本当にありがとうございます。 ◆ センスオブアース誕生のきっかけとなった『板橋区立蓮根第二小学校』の学校ビオトープが今年の12月で5周年を迎えます。メダカ、カエル、トンボ、バッタ、デンジソウ、ヨシなど、多様な生きものが生息し、コンクリートの都市でもビオトープが生き続けられることを証明しています。11月5日に行われる記念イベントで、センスオブアースはネイチャーゲームの企画運営をお手伝いします。校内の自然を生かした楽しいゲーム



蓮根第二小学校
学校ビオトープ



第二回野鳥観察会
板橋区立生物生態園で観察

ムになっています。在校生対象のイベントですが、当日の様子はこのS.O.E. Newsでお伝えします。お楽しみに。

◆ 10月9日に第2回の野鳥観察会を行いました。小雨でしたが、イソシギ、ゴイサギ、コサギ、ハシビロガモ、バンなどを、荒川の板橋区立生物生態園、浮間公園で観察しました。